



FFCカレッジフットサルリーグ2022感染症対策 ガイドライン

FFCカレッジフットサルリーグ事務局

1.はじめに

2022年度新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを作成いたしました

本ガイドラインは、今後のリーグ戦に向けて新型コロナウイルス感染症の感染予防および対処についてFFCカレッジフットサルリーグ関係者（選手、チーム関係者）としての行動指針を示し、リーグ戦を実施できるように意識統一することを目的に作成したものです。

本書に示す内容は、対策に向けての共通ルールとして必ず実施いただくとともに各チームにおいても適宜、感染症の感染予防対策を実施するようお願い致します。

2022年度は、条件付き有観客試合（最大25名まで人数制限）を実施します。

会場には来場できるのは、試合に出場する登録選手選手（最大15名）、ベンチ入りするスタッフ（最大3名）及び、観戦者（最大7名～）計最大25名とします。

ただし、最大25名内であれば、観戦者最大人数は、試合当日に登録する選手およびスタッフの人数により変動できるものとします。

そして、チームの管理下でない観戦者や一般の方はご来場いただけません。

何卒、皆様のご理解、ご協力お願い申し上げます。

また、本書に示す内容に加えて利用する施設より示される内容に従ってください。

●本ガイドラインの改定について

- ・重要な事項または方針に関わる改正はFFCカレッジフットサルリーグ事務局にて行う。
- ・前項以外の改正は、新型コロナウイルス感染症をめぐる社会状況や医学的知見の変化に即応するため、ただちに関係者に周知するものとする。

2.リーグ戦運営ガイドライン

(1) リーグ戦当日に会場へ入場できる者

①チーム関係・大会関係者

チーム関係に対しては以下の対応を行なう。

■チーム関係・大会関係者の定義（ピッチレベルに立入できるもの）

- ・最大25名（選手（最大15名）、スタッフ（最大3名）、観戦者の合計）
選手は登録選手のみ、スタッフ、観戦者は登録なし（スタッフはメンバー表に氏名を記入）
- ・FFCカレッジフットサルリーグ事務局スタッフ
- ・会場責任者
- ・審判員

※FFCカレッジフットサルリーグ2022は一般の方は会場に入場できません

チーム関係に対しては以下の対応を行なう。

1.自身の感染防止のため

十分な休息、手洗い、うがい、移動中・会議中のマスク着用など体調管理ならびに感染予防に努める。

2.他者への感染防止のため

- チーム代表者（担当者）が前日及び当日チーム内検温の確認
- 当日事前（自宅など）に検温しチーム内での共有
- 37.5度以上の場合は自宅待機し、会場には向かわない
その場合は必ずチーム代表者はFFCカレッジフットサルリーグ事務局に報告
- 陽性または、濃厚接触への接触の疑いなどの確認
- 倦怠感などの体調不良者は原則会場には向かわせず自宅待機
- 消毒用エタノールなどで手指を除菌する。
- マスク着用の順守**。未着用の場合は、着用してもらう。

※未所持の場合は、FFCカレッジフットサルリーグで用意のマスクを使用する。

②審判員

審判員に対しては以下の対応を行なう。

1.自身の感染防止のため

十分な休息、手洗い、うがい、移動中・会議中のマスク着用など体調管理ならびに感染予防に努める。

2.他者への感染防止のため

- 事前検温
- 体温が37.5度を超えている場合 会場には向かわせず自宅待機
- 消毒用エタノールなどで手指を除菌する。
- マスク未着用の場合は、着用してもらう。

※館内移動時は携行すること。ただし、アップ～試合終了時まではこの限りではありません。

- 第2審判（主審）は電子ホイッスルを使用する

審判員につきましては、試合中とその前後は、円滑な競技進行の為、マスクを外す場合があります。（マスク着用を推奨）

ただし、それ以外の時間についてはマスク着用とします。

③オフィシャル・ボールパーソン

- ・全てマスク着用のうえ業務に従事する。
- ・倦怠感など体調不良を覚える場合は即時交代

3.試合当日に関して

①各種試合時のセレモニーについて

KICKOFF前の選手入場セレモニー（挨拶など）実施しない

試合終了後のセレモニー（挨拶など）も実施しない

円陣、集合写真は間隔を取り行う事

②対戦チーム同士の各種所作について

以下の行為は感染防止の観点から行わないこと。

- 審判員との握手 ※審判員同士の握手含む
- 対戦チーム同士選手・スタッフの握手、ハイタッチ等の競技以外での接触行為
- アップ時はできる限り、間隔をあけて行なうこと。
- ビブスの使用（共有）しないこと。
- 飲水時の飲みまわしなど、1つの容器を共有使用しないこと。
- 監督およびスタッフは、原則競技中マスクを着用する事。※熱中症に注意する事。

③選手交代について

- ビブスを使用しなくても可。使用す場合は固定する

④チームベンチの数について

- FFC東川口開催時について

以下⑫に記載

- 着席する座席を固定できる会場

座席を2列に設置し、アップ～試合終了まで

着席する座席を固定とし、前半・後半終了時に消毒を行うこと。

⑤会場内ミーティング、更衣室利用に関して

- ・会場内でのミーティングはなどやむを得ない場合を除いて、20分以上の滞留することは控えること。
- ・ミーティングは、原則マスク着用し、会話はできる限り控えること。
- ・ミーティングはできる限り間隔をあけて実施すること。
- ・選手、スタッフ、審判、役員のシャワールームの使用は10分以内とする

⑥ウォーミングアップ、メンバーチェックに関して

- ・FFC東川口開催時は以下⑫に記載
- ・ハーフタイム中の次試合のチームのウォーミングアップは禁止
- ・試合終了後、ベンチ、オフィシャル席を消毒
- ・消毒が終了するまでは、次チームはコート内に入れない
- ・消毒確認後、ピッチ内アップ開始
- ・メンバーチェックは試合5分前に開始

⑦消毒作業

当日、選手・審判員が使用するものについては、事前に消毒作業を行なうこと。
使用後についても同様の作業を実施すること。

⑧消毒液の準備

●手指消毒液の準備

アルコール濃度が70%～80%（厚生労働省）または60%～80%（WHO）のもの。

●モノに対する消毒液

アルコール濃度が70%～80%のものを使用。代用品として次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素水の液体を使用する場合は、必ずマスクとゴム手袋の着用と換気をし、安全性に注意しながら使用する事。

※希釈する場合は、濃度に注意

⑩消毒液の設置

以下の場所へ設置を行なうこと。 ※本数、容量によっては審判控室の常設はなし。

- ・オフィシャル席、大会本部
- ・各チーム持参
- ・出入り口付近

※常設は火気（危険物）の観点から管理者を決めて設置を行なうことが望ましい。

⑪飲食について

- ・人との距離を取り、食事を行なう。更衣室、控室など狭い空間での飲食は避けること。

⑫FFC東川口開催時について

- ①試合実施中は、施設内には試合チーム、審判2名、オフィシャル3名、観戦者、役員1名のみとする
 - ②ピッチ内、施設内アップは試合前のみ
 - ③試合中のベンチをコート外に設置する
 - ④前後半のベンチ交代は無し ただし交代しないことで不利益がある場合は交代する
 - ⑤チーム入れ替え、次試合のアップ時間確保の為、十分な試合間隔を取る（20分以上を想定）
 - ⑥HOMEチーム/AWAYチームの出入り口を分ける
 - ⑦完全入れ替え制とする
- ・FFC東川口開催時運用事項は別途
- ※その他施設では
- ①、②、④、⑤ を実施

4.その他

①感染防止とリーグへの報告・連絡・相談

以下に該当する場合、選手はチームドクター、トレーナーに指示を仰ぐこと。またチームは速やかにFFCカレッジフットサルリーグ事務局に連絡を行なうこと。

- A: 自主隔離している場合（疑わしい症状（例）37.5度以上発熱2日連続など）がある
- B: 選手・スタッフがPCR検査を行う予定がある場合
- C: 選手・スタッフがPCR検査を行い、陽性判定が出た場合
- D: 濃厚接触者指定を受けた、または疑わしい場合
- E: その他：発熱以外の症状（味やにおいを感じなくなる症状など）

②換気について

試合間で消毒や換気を行なう時間を設けることが望ましいが、難しい場合は、できる限り事前に施設と協議し、指示に従ってください。

③試合中止（延期）の条件

以下の場合、試合を中止（延期）する

※新型コロナウイルスに係る措置や対応に限る

- ・所属大学、クラブからの活動停止措置
- ・保健所、病院などの医療機関からの活動停止措置
- ・行政からの活動停止措置
- ・施設営業停止
- ・試合日までに、医療機関から陽性者、濃厚接触者が認定が間に合わない場合
- ・チーム陽性者、濃厚接触者が多数認定され、試合を開催できる人数を揃えられない場合

よって、チーム内に陽性者、濃厚接触者が発生した場合でも、上記に該当しない場合は原則試合を実施する